

## 2018 年度 認知神経リハビリテーション・ベーシックコース (広島・プログラム)

1 日目 2018 年 10 月 13 日 (土)

[リハビリテーション脳科学]

9:20～

認知の樹 (映像)

9:30～10:30

講義 1) 行為と認知のニューロサイエンス (奥埜)

1. 脳の知覚運動制御メカニズム
2. 運動意図 (予測) と運動イメージ
3. 運動学習モデル (スキーマ理論、比較学習)、身体意識、行為の多感覚統合

10:40～11:40

講義 2) 片麻痺の機能回復神経学 (Restorative Neurology) (江草)

1. 痙性麻痺と錐体路
2. 機能解離と半球間抑制
3. 片麻痺の機能回復とリハビリテーション治療

[認知神経リハビリテーション入門]

11:50～12:40

講義 3) 認知神経理論 (沖田)

1. 身体と環境の相互作用
2. 認知過程からみた回復と学習の類似性
3. 行為の全体性、複合性、拡張性と行為の創発原理

13:40～15:10

演習 1) 病態分析と病態解釈 (小川・全講師)

1. 脳画像検査や手術所見などから得られる情報から数量化、視覚化可能な検査チャートによる評価まで
2. 外部観察・・・姿勢と動作の特徴 (自発的・規定動作)、神経学的病理、特異的な運動の異常要素、行為システム
3. 内部観察・・・認知過程の変質、意識経験の変質、観察のためのプロフィール、一人称言語記述、意識の志向性

15:30～16:20

講義 4) 行為の機能システムと情報メカニズム (沖田)

1. 身体を情報の受容表面と捉える
2. 行為・機能・情報のヒエラルキー
3. 行為の機能システムの回復のための情報の構築

16:30～17:20

講義 5) 道具と訓練 (小川)

1. 道具の名称
2. 物理的道具と心理的道具
3. ツールとしての訓練器具・運動イメージ・言語・他者観察

17:30～18:20

演習 2) 認知問題と訓練の組織化 (小川・全講師)

1. 身体部位、訓練段階、感覚モダリティ、認知問題
2. 空間問題と接触問題
3. テーマ (身体部位)、内容・方法・検証

2日目 2018年10月14日(日)

[認知神経リハビリテーションの実際]

9:00～12:30

演習3) 行為の機能システムと認知神経リハビリテーション

1. 行為システムと訓練器具の関係
2. 難易度の調整
3. 基本的手続きと実技
  - ・ 上肢の機能システムと訓練の実際 (福代・全講師)
  - ・ 体幹の機能システムと訓練の実際 (濱田・全講師)
  - ・ 下肢の機能システムと訓練の実際 (高橋・全講師)

[脳の中の訓練室]

13:10～13:55

講義6) 左半球損傷(失行症)の病態解釈と回復の探求(高梨)

1. 「行為のトランスフォーメーション(変換)」としてみた左半球障害の特徴
2. 失行症の病態(肢節運動失行・観念運動失行・観念失行)
3. 失行症の治療(動作的・映像的・言語的表象の同種・異種感覚情報変換、道具使用)

13:55～14:40

講義7) 右半球損傷(半側空間無視)の病態解釈と回復の探求(江草)

1. 「行為のスペース・インテグレーション(空間統合)」としてみた右半球障害の特徴
2. 半側空間無視の病態(注意障害、身体空間・身体周辺空間・身体外空間)
3. 半側空間無視の治療(身体の正中線、体性感覚空間への注意、行為の多感覚統合)

14:50～15:50

講義8) 整形外科的疾患の病態解釈と回復の探求(奥埜)

1. 情報器官としての運動器の特徴
2. 整形外科的疾患の病態(特異的病理、運動ストラテジーの異常)
3. 整形外科的疾患の治療(運動プログラム、運動ストラテジー)

[身体化された認知]

16:00～16:50

講義9) 身体化された認知(embodied cognition)の回復を目指して(平谷)

1. リハビリテーション身体論～フッサール、メルロ・ポンティ、ギブソン、ギャラガー、エーデルマン、ヴァレラ・・・
2. 身体・物語・人生とロマンティック・サイエンス～ルリア、サックス、ペルフェッティ・・・
3. 行為の記憶と想起された現在～認知運動療法から行為間比較への旅・・・

16:50～

認知の樹(映像)

終了